

研究課題名	脊髄腫瘍に関する臨床研究
研究責任者	長谷川智彦
研究機関名	浜松医科大学 整形外科
研究目的と意義	<p>脊髄腫瘍は脊髄およびその周囲組織にできる腫瘍で、脊髄、神経根、あるいは脳脊髄を包む硬膜（こうまく）、更にその周囲にある脊椎（せきつい）から発生する。発生する頻度は10万人あたり1～2人で、脳腫瘍の1/5～1/10程度と比較的珍しい病気である。脊髄が腫瘍によって圧迫されて症状が出現したり、脊髄内の腫瘍により脊髄そのものが傷害される。そのため、筋力低下や感覚障害、疼痛など様々な症状を呈する。手術により圧迫を除去しても脊髄そのものに障害が残ってしまった場合は疼痛などの後遺症を呈する。また、手術治療に関しても脊椎内の腫瘍のため、そのアプローチも高度の技術が必要となる。脊髄腫瘍に関する知見はまだ不十分であり、脊髄腫瘍に関する臨床研究は非常に重要である。本研究では、整形外科外来を受診し手術加療を施行した脊髄腫瘍患者の術前後の臨床症状の変化を調査すること。</p>
研究期間	西暦 2015 年 3 月（倫理委員会承認後） ～2018 年 3 月
研究方法	<p>●対象となる患者さん： 平成21年12月 ～ 平成27年2月に当院で脊髄腫瘍に対して手術加療を施行した方</p> <p>●研究に使用する試料：  (1) MRI 画像  (2) 手術記録  (3) 術中の神経モニタリング記録票  (4) 病理組織学検査報告書  (5) Pain DETECT アンケート調査票  (6) マギルの痛みに関する調査票  (7) HAD 尺度調査票  (8) EQ-5D 調査票  (9) 診療録記載の病歴、理学所見</p> <p>●研究方法</p>

	当院で手術加療を行った脊髄腫瘍の術前後のMRI 像、手術記録、病理組織学的検査報告書、アンケート調査票を後ろ向きに解析する
問い合わせ先	〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：整形外科 担当者：長谷川智彦 TEL： 053-435-2299 FAX：053-435-2296 E-mail：hasetomo@hama-med.ac.jp

医学系研究に関する情報公開文書